

## 銀賞

### 下水道のおかげで

山本 翠

小郡市立大原小学校

わたしは、社会科見学で、水をきれいにするしせつ「宝満川浄化センター」に行きました。わたしはそこで、今まで思いもしなかったことを知りました。それは、下水道のおかげで、安全・安心な生活が送れているということです。わたしは、これまで一度たりともそんな事を考えたことがなかったので、とてもおどろきました。

その一つは、下水道の役わりです。これまでわたしは、下水道の役わりは何か、考えたこともありませんでした。でも、浄化センターに見学に行ったことで初めて知りました。わたしは、聞いたしゅんかんに、「わたしは今までなぜ下水道のことを考えなかったのだろう」と後かいの気持ちが出てきました。

二つ目は、下水処理のしかたについてです。処理場に運ばれた下水は、まず、沈砂池とよばれる池に入り、下水の中に含まれている大きなゴミや砂を取りのぞきます。次に、その下水は、最初沈殿池という所に運ばれます。そこで、この池を流れていく間に、沈砂池で沈まなかった小さなゴミや砂を取りのぞきます。そして、最初沈殿池を通った下水は、反応タンクに入ります。反応タンクには、バクテリアや原生動物のような微生物がいます。その名は「活性汚泥」です。その活性汚泥を下水に混ぜて、空気を吹き込みます。活性汚泥は、下水に溶けた空気を呼吸しながら水の汚れを食べ、増殖し、水はきれいになっていきます。反応タンクで増殖した活性汚泥は、その次に最終沈殿池

という所に行き、そこで取りのぞかれて、下水はきれいになります。最後に、消毒施設にいったり、最終沈殿池の上澄み水を消毒してから、きれいになった下水処理水として、河川や海に放流されます。

このように、下水は、川に流せる水にするために、こんなにたくさん施設を回っています。そんな大切な水をとどける下水道は、とても大事なものです。だから、「下水道なんて、わたしには関係ないから。」と思わずに、毎日毎日、下水道の役わりに感じやの気持ちをもっておきたいと思えます。下水道は、わたしたちの知らない所で、生活をささえてくれました。だからわたしも、下水道の働きをささえていきたいと思えます。